

まちづくりの目標

個性と創造性に満ちた活力あふれるまち

個性と創造性に満ちた活力あふれるまち

政策 1 出会いと発見に満ちた魅力ある観光のまちづくり

(施策 1) 広域・滞在型観光の推進 《 - 1 - 1 》

現状と課題

本市では、道路や鉄道、空港などの交通の基盤整備が進んでおり、今後も北陸新幹線や地域高規格道路などの高速交通網の整備により、国内外からの観光客の増加が見込まれます。

このことから、立山黒部アルペンルートなどへの発着点としての役割に加え、隣接県などの観光地を周遊する際の滞在拠点として選択されるよう、広域的な視点にたった観光施策の展開が必要となっています。

このため、周辺市町村との連携により、お互いの資源を活用・補完しながら滞在型観光に向けた環境の整備を推進する必要があります。

立山黒部アルペンルートの訪日団体観光客数 (人)

区分	平成 14 年	平成 15 年	平成 16 年	平成 17 年
総数	20,287	23,731	46,391	73,726
台湾	18,099	20,242	40,269	64,024
韓国	1,361	2,874	4,855	7,451
中国	307	35	108	92
その他	520	580	1,159	2,159

(平成 17 年富山県観光客入込数 (推計))

目標とする指標

指標名	指標の説明	基準数値 (年度等)	平成 23 年度 目標数値
外国人観光客入込数	富山空港国際線の外国人降客数	34,330 人 (17 年)	46,000 人 (23 年)
ホテル旅館等の宿泊者数	ホテル・旅館の延べ宿泊者数	1,783,005 人 (17 年)	1,933,000 人 (23 年)

施策の方向

富山らしい滞在型観光の推進

来訪者が本市で多様な過ごし方ができるよう、豊かな自然を生かしたグリーン・ツーリズムやエコ・ツーリズムなどの体験型観光のほか、医薬品製造業やエコタウンをはじめとした富山の特色ある産業や企業などを紹介する産業観光を促進するなど、滞在メニューの充実を図ります。

また、ぶり街道推進協議会や立山黒部観光宣伝協議会などの広域観光推進組織と連携を図りながら周辺観光地を含んだ魅力的な周遊モデルルートを構築し、広域滞在型観光の推進に努めます。

本市の観光の将来像や施策の方向、さらには実践的な取り組み内容を明らかにして施策を展開するため、富山市観光実践プランを策定し、本市の立地特性を活かした観光の推進に努めます。

外国人観光客の誘致促進

外国人が安心して滞在できる都市としての魅力を高めるため、外国語標記の案内板や外国語パンフレットの充実、観光ボランティアへの外国語会話研修の実施、宿泊施設での外国語テレビ放映機器の整備に対する支援などによる受け入れ環境の整備を図るとともに、飛越国際観光都市連合やホテル・旅館などの観光関連事業者と連携し、外国人観光客に対し魅力的な観光ルートを提案します。

また、本市の魅力ある観光資源や物産などを紹介するため、海外での観光客誘致宣伝活動を行うとともに、インターネットでの外国人向けの観光情報を充実し、海外における本市の知名度向上を図ります。

市民に期待する役割

* 本市の観光資源の紹介に努める。

* 観光ボランティア活動に参加し、国内外の観光客に対して案内を行う。

総合計画事業概要

事業名	平成18年度末現況	事業の概要 (19～23年度)
観光実践プランの策定		プランの策定
外国語表示観光案内板整備事業	設置箇所数 8箇所	設置箇所 14箇所の増 (累計22箇所)

政策1 出会いと発見に満ちた魅力ある観光のまちづくり

(施策2) 観光資源のネットワーク化の推進 《 - 1 - 2 》

現状と課題

本市には、海や山岳、河川、森林など、四季ごとに豊かに彩られる自然や、それぞれの地域で育まれてきた伝統文化や芸術、祭りなどがあります。また、八尾曳山展示館、北前船廻船問屋森家、売薬資料館など地域の歴史を物語る施設、美しい都市空間などの観光資源が点在しています。

また、平成18年度に県から移管されたらいちょうバレースキー場など、市内にあるスキー場については、スキー人口の減少に伴い経営が厳しくなっており、経営の改善が必要になってきています。

今後は、これら個々の観光資源について魅力を高めながら、季節別・テーマ別に連携させることにより、通年型観光を促進する必要があります。

また、点在する観光資源を公共交通機関やアクセス道路で効率よく結ぶとともに、充実した観光情報を発信するなど、観光地としての基盤の確立と利便性を高める必要があります。

主な観光資源の観光客入込み数 (人)

施設名	平成15年	平成16年	平成17年
富山市ファミリーパーク	217,004	210,398	182,876
有峰県立自然公園	102,152	85,340	108,226
民俗民芸村	117,476	117,965	101,715
池田屋安兵衛商店	72,800	93,600	92,100
八尾曳山展示館	33,356	44,568	27,602
森家	16,595	14,034	16,190

(観光振興課、公園緑地課調べ)

主な観光行事の観光客入込み数 (人)

施設名	平成15年	平成16年	平成17年
富山まつり	252,000	270,000	270,000
おわら風の盆 (前夜祭含む)	312,000	261,000	265,500
全日本チンドン コンクール	175,000	280,000	260,000
山王まつり	230,000	230,000	230,000
とやまスノー ピアド	220,200	232,550	210,700

(観光振興課調べ)

市内スキー場の利用状況

(人)

年	極楽坂 スキー場	らいちょうバレー スキー場	あわすの スキー場	牛岳温泉 スキー場	猿倉山 スキー場	計
15	81,950	88,048	16,540	78,290	4,852	269,680
16	73,305	74,914	18,323	57,017	2,936	226,495
17	78,936	80,881	19,180	78,842	4,504	262,343

(観光振興課調べ)

目標とする指標

指標名	指標の説明	基準数値 (年度等)	平成 23 年度 目標数値
スキー場入込客数	市内スキー場の入込客数 (らいちょうバレー、極楽坂、牛岳温泉、あわすの、猿倉山)	262,343 人 (17年)	263,000 人 (23年)

施策の方向

地域の観光資源のネットワーク化による魅力の向上

さまざまな交通手段を利用して訪れる観光客が、目的地まで快適に移動できるよう交通網の整備に努めます。

また、点在している観光資源の情報を整理し、季節別・テーマ別の観光ルートを構築するなど、観光メニューの充実に努めます。

さらに、観光客をひきつける観光パンフレットを作成し、配布することにより、観光情報の発信に努め、多くの人々が本市を訪れ地域の賑わいが創出されるよう努めます。

スキー場と温泉施設等との連携

スキー場については、温泉施設をはじめとした近隣の観光施設との連携による利用者の増加に努めるとともに、トレッキングコースの整備などグリーンシーズンの活用策や、今後の経営方式のあり方について検討を進めます。

市民に期待する役割

- * 身近な伝統・文化・芸術・祭りなどの活動に参加する。
- * 市内の観光資源に誇りと自信をもち、自ら PR する。

政策1 出会いと発見に満ちた魅力ある観光のまちづくり

(施策3) 富山ブランドの発掘・発信 《 - 1 - 3 》

現状と課題

本市には、「くすり」や「ますの寿し」など、全国的に有名な商品や、「おわら風の盆」など著名な伝統文化があり、これらは確立された富山ブランドといえます。

しかしながら、地域全体のイメージの好感度や知名度としての富山ブランドは、全国的なものとして確立するまでには至っていない状況です。地域イメージの向上には、市民一人ひとりが富山ブランドの良さを認識し、暮らしのあらゆる場面で利活用し、PRしていくことが大切です。

このことから、これら富山ブランドの価値をさらに高める工夫をしながら、さらに魅力ある富山ブランドの発掘に取り組む必要があります。

また、販売品については、富山ブランドとして位置づけるとともに、流通経路を拡大し、販売を促進することが必要となっています。

富山市の特産品一覧

地域名	主な特産品
水産物・水産加工物	かまぼこ、ほたるいかの沖漬け、いかの黒作り、白えびの刺身、イワシやアジのみりん干し、塩乾物 など
農産品・農産加工品	富山米、呉羽梨、朝日すいか、池多りんご、富山トマト、いちじく、自然薯、らっきょう漬、山菜加工品、啓翁桜、水橋カラー など
酒類・飲料品	地元産の酒やビール、ワイン、茶など
菓子類	神通橋、ちんぐるま、木目羊羹、力餅、鹿の子餅、月世界、おわら玉天、こおり餅、一万尺、白鳥、立山の白雪、甘酒饅頭、平安もなか、しほがま、薄氷、三島豆、桜あめ、まいどはや、むぎころ、いちじく羊羹、うさか など
各種食品	ますの寿し、みょうが寿し、八尾そば など
工芸品・民芸品	富山木象嵌、越中八尾和紙、ガラス工芸品、とやま土人形 など
その他	配置用医薬品、薬膳料理 など

(薬業物産課調べ)

施策の方向

富山のイメージを高めるブランド化の推進

市民が富山ブランドの良さを再認識し、誇りをもって全国に自慢できるよう市民への意識啓発に努めます。

また、県内外で開催される各種イベントや、富山ブランド市、富山くすりフェアなどの機会を捉えて富山ブランドのPRに努めるとともに、くすりに関する情報発信の拠点となる施設などの整備について検討します。

一方、特産品の生産者に対しては、商品などの高付加価値化や高品質化、差別化を図るための研修会を開催するとともに、インターネット網を活用した販路拡大に向けた取り組みを支援します。

さらに、富山ブランド情報を集めたホームページを開設し、富山ブランドの普及と販売の促進に努めます。

市民に期待する役割

* 特産品のPRに努める。

総合計画事業概要

事業名	平成18年度末現況	事業の概要 (19～23年度)
富山ブランド推進事業		講演会の開催、ホームページの開設、生産者向け富山ブランド研修会の開催、生産者等ホームページ開設助成など
富山ブランド市開催事業	富山ブランド市の開催	継続開催

政策 1 出会いと発見に満ちた魅力ある観光のまちづくり

(施策 4) コンベンションの振興 《 - 1 - 4 》

現状と課題

コンベンションの中心的役割を担う富山国際会議場は、メインホール、大型スクリーン、6カ国語同時通訳設備などにより、国際的な会議に対応できるものとなっています。また、近隣には、ホテルや飲食店が集積しており、富山大手町コンベンション(株)や、(財)富山コンベンションビューローとの連携により、大学や各種団体を訪問するなど、コンベンション情報を収集し、誘致に努めています。

市民によるコンベンションサポーターは、会議場での受付業務補助などの会議支援や、会場内での通訳、観光案内などを行い、コンベンションが円滑に開催できるよう主催者を支援しています。また、国際会議場でのコンベンション開催の際には、民間において物産販売のサービスを行っています。

会議参加者を本市のリピーターとするためには、参加者が市内を観光し、地元の料理を味わい、特産品を購入するなど、富山を楽しんでいただくことが大切です。そのためには、各種団体やコンベンションサポーターなどと連携したアフターコンベンションの充実が必要となっています。

コンベンション開催数推移 (件、人)

	平成 12 年度	平成 13 年度	平成 14 年度	平成 15 年度	平成 16 年度	平成 17 年度
開催数	163	157	177	143	129	153
参加者数	178,940	221,963	384,479	182,293	138,825	163,986

(観光振興課調べ)

富山国際会議場入場者数 (人)

年度	平成 14 年度	平成 15 年度	平成 16 年度	平成 17 年度
入場者数	110,891	133,204	121,193	145,648

(観光振興課調べ)

目標とする指標

指標名	指標の説明	基準数値 (年度等)	平成 23 年度 目標数値
コンベンション開催数	県外参加者が本市で延べ 100 泊以上するコンベンションの開催数	68 件 (17 年度)	80 件

施策の方向

コンベンション誘致の推進

コンベンションを誘致するため、開催補助制度やコンベンションサポーター派遣制度をPRするとともに、富山大手町コンベンション(株)や(財)富山コンベンションビューローとの連携の強化に努めます。

また、コンベンションの国際化に対応するため、交通・宿泊・飲食・観光などの関連団体と協力し、開催支援の充実に努めるとともに、外国人に分かりやすい案内板の設置や、宿泊施設での外国語テレビ放映機器の整備に対する支援などを推進します。

アフターコンベンションの充実

会議参加者に富山を楽しんでいただくため、各種団体や市民と行政が連携した、おもてなしの体制づくりに努めます。

また、アフターコンベンションでの観光を充実するため、インターネットでの飲食情報や特産品の紹介など、四季折々の旬の情報提供に努めます。

市民に期待する役割

* コンベンションサポーターに登録し、コンベンション参加者との交流活動に取り組む。

政策1 出会いと発見に満ちた魅力ある観光のまちづくり

(施策5) おもてなしの心の醸成 《 - 1 - 5 》

現状と課題

本市では、ホテルや旅館などの関係団体と連携し、これらの従業員、タクシー運転手など観光客と接する機会が多い職業の方々を対象に、接遇や施設・特産品の情報、簡単な外国語会話の習得に取り組んでいます。

また、本市には、観光ボランティアガイドや、会議の支援を行うコンベンションサポーター、中心市街地周辺地区で清掃・案内などの活動を行うアーバンアテンダントなどのグループにより観光客へのおもてなしが実践されています。

今後は、観光の国際化や新幹線の開通などで、国内外から多くの観光客が訪れることが予想されるため、観光客を受け入れる体制の充実と、意欲的におもてなしの活動ができる人材の育成と確保が必要となっています。

観光ボランティア団体等一覧

区分	団体名	活動地域
観光ボランティア	紙ふうせん	富山地域
	岩瀬案内グループ	
	婦中町観光ボランティア	婦中地域
	うれの会	大山地域
コンベンションサポーター	とやまコンベンションサポーター会	富山市全域
アーバンアテンダント	T-angels (ティーエンジェルス)	富山地域

(観光振興課調べ)

施策の方向

市民ぐるみでもてなす心の醸成

市民全体がおもてなしの心を持って観光客に接することが観光客の満足度向上につながり、富山のファンやリピーターの獲得に大切なことから、市民がそれぞれの地域において、得意な分野で活動しやすい環境の整備に努め、市全体で観光客をもてなす気運の醸成を図ります。

また、今後、増加が予想される外国人観光客への対応に備え、観光産業関係者や観光ボランティアを対象とした研修を支援するとともに、異文化の慣習への理解や、外国語会話の習得など、研修内容の充実に努めます。

市民に期待する役割

- * 市民一人ひとりがおもてなしの心をもって観光客をもてなす。
- * 観光関係者は、本市の観光についての知識を深めるとともに、接遇などについて資質の向上に努める。

総合計画事業概要

事業名	平成18年度末現況	事業の概要 (19~23年度)
観光サポーター研修事業	コンベンションサポーターとの合同研修の実施	事業の継続実施

個性と創造性に満ちた活力あふれるまち

政策2 個性豊かな文化・歴史を守り育てるまちづくり

(施策1) 伝統的文化・文化遺産の保全、活用 《 - 2 - 1 》

現状と課題

本市にはおわら風の盆や八尾曳山祭り、熊野神社の稚児舞などの伝統芸能や、とやま土人形や富山木象嵌、越中和紙などの伝統工芸品があります。

これら、それぞれの地域の歴史と生活に培われた伝統が、関係者の高齢化などから担い手や後継者が減少しており、伝統文化の継承のための対策が必要となっています。

また、岩瀬地区や八尾地区の情緒豊かで歴史的なまち並みや、史跡王塚・千坊山遺跡群など、地域の歴史や文化を語る貴重な資源を保全し、まちの活性化につなげていくことが必要となっています。

富山市内の国指定文化財一覧

番号	種別	名称
1	建造物	浮田家住宅
2	建造物	旧森家住宅
3	建造物	富岩運河水閘施設(中島閘門)
4	絵画	紙本著色野郎歌舞伎 婦女遊楽図六曲屏風
5	絵画	絹本著色法華経曼荼羅図
6	彫刻	木造十一面観音立像
7	彫刻	木造聖観音立像
8	書跡	仏祖正伝菩薩戒教授文
9	考古資料	境A遺跡出土品
10	有形民俗文化財	富山の売薬用具
11	無形民俗文化財	越中の稚児舞(熊野神社の稚児舞)
12	史跡	北代遺跡
13	史跡	直坂遺跡
14	史跡	王塚・千坊山遺跡群
15	史跡	安田城跡
16	特別天然記念物	薬師岳の圏谷群
17	天然記念物	真川の跡津川断層
18	天然記念物	猪谷の背斜・向斜
19	天然記念物	横山楡原衝上断層

(生涯学習課調べ)

施策の方向

伝統文化等の保存・継承への支援

地域の伝統文化を次代に継承するため、本市の伝統文化に関する様々な情報を市内外に発信するとともに、市内の小学生等を対象とした伝統芸能発表会などを開催することにより、後継者となる人材を幅広く発掘し、後継者の確保・育成に努めます。

また、地域に残る伝統的な行事に対して支援補助制度を整備し、伝統文化の保存・継承に努めます。

さらに、先人の残した本市の伝統工芸品の良さを広く市民にPRするとともに、富山木象嵌技術講習会の開催や関係団体の活動に対して支援し、後継者の育成や技術の継承に努めます。

伝統的なまち並みの保全と活用

地域の活性化を図るため、風情ある伝統的な家屋を修景し伝統的なまち並みの形成を進め、観光資源としての活用を努めます。

また、歴史的な風致を形成している伝統的な建造物群を、文化財として保存する、国の伝統的建造物群保存地区の選定に向けた準備を進めます。

さらに、特色あるまち並みの創出を図るため、景観や雰囲気損なう建築物や広告物などの抑制に努めます。

文化遺産等の保全と活用

市内の多様な文化財の実態を把握するため、市全体の文化財を調査するとともに、史跡や建造物周辺に遊歩道や案内標識などを整備することにより、観光資源としての活用を図ります。

史跡王塚・千坊山遺跡群については、計画的に保存整備を図ります。

また、収蔵庫や展示スペースを備えた埋蔵文化財センターの整備について検討します。

地域固有の文化資料等の電子化

図書館に所蔵する貴重な書物や地域固有の文化資料の電子化を推進し、ホームページ等での情報提供に努めます。

市民に期待する役割

- * 身近な伝統行事に参加する。
- * 身近な地域の伝統工芸品を友人知人に紹介する。
- * 地域に残る歴史的建造物や文化財を愛護する心を育む。

総合計画事業概要

事業名	平成18年度末現況	事業の概要 (19～23年度)
歴史的まち並み修景等整備事業 (再掲 -1-3)	伝統的家屋及び一般建築物等の修景 空家活性化事業	事業の継続実施
まち並み保存活用推進事業	岩瀬地区の廻船問屋の資料調査 旧森家の展示活用	岩瀬地区の伝統的建造物群選定のための調査など まち並みを生かした施設整備など
史跡王塚・千坊山遺跡群整備事業	保存管理計画策定委員会の開催	遺跡群の復元整備など
埋蔵文化財センター施設整備事業		整備計画策定、施設整備の検討

政策2 個性豊かな文化・歴史を守り育てるまちづくり

(施策2) 新たな芸術文化の発信 《 - 2 - 2 》

現状と課題

本市では、ガラス工芸品の創作活動を通じて、ガラス工芸を新しい産業として定着させるため、富山ガラス工房を整備・充実するとともに、作品を展示するショーケースを街路に設置するなど、ガラス工芸技術者の養成とガラス工芸品の普及に努めてきました。

今後は、ガラスを富山の新しい文化として位置づけるための拠点施設等の整備と「ガラスの街とやま」のイメージの定着を図る必要があります。

また、富山の伝統的な産業である薬業とともに、グラフィックやパッケージデザインに代表される商業デザイン産業が発展しており、全国的にも高い評価を受けています。

今後は、デザインの振興や普及啓発により、地域の活性化を図る必要があります。

また、地域に潜在している芸術・文化資源の発掘に努め、新たな芸術文化として、発展の可能性を検討する必要があります。

富山ガラス造形研究所卒業生進路一覧

(人)

進路先		13年	14年	15年	16年	17年
進学	研究科	4	3	2	3	3
	その他(留学)	1	0	0	0	0
就職	富山ガラス工房	0	1	1	0	1
	ガラス関係会社	1	4	1	0	1
	公立工房	0	1	0	1	1
	個人工房	2	9	14	12	7
	教育関係	2	1	0	0	1
その他		9	1	1	1	6
合計		19	20	19	17	20

(生涯学習課調べ)

富山ガラス工房の利用状況

(人)

年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度
入館者数	32,066	34,053	33,315	33,837	34,742
1日平均	105	111	117	109	112
ガラス制作講座受講者	12	12	12	18	18
吹きガラス等体験者数	398	504	679	1,577	3,146

(富山ガラス工房調べ)

デザイン業務種類別年間売上高（平成 15 年北陸三県）（百万円）

区分	富山県	石川県	福井県
パッケージデザイン	59	10	11
グラフィックデザイン	1,231	552	365
サインデザイン	141	34	35
ディスプレイデザイン	46	36	8

（平成 15 年特定サービス産業実態調査）

目標とする指標

指標名	指標の説明	基準数値 （年度等）	平成 23 年度 目標数値
ガラス作品制作体験者数	吹きガラス体験などの有料体験参加者数	3,146 人 （17 年度）	4,200 人

施策の方向

新たな芸術文化の創造への支援

ガラス工芸の知名度の向上を図るため、建築家やアーティストなど異業種のデザイナーとのコラボレーションによる新しい表現領域の開発に努めるとともに、ガラスアートの建築空間や都市空間への活用を促進します。

また、ガラス工芸の活性化を図るため、翡翠の入った新素材ガラスの普及促進や、創作工房（レンタル工房）や体験教室の活用を図り、ガラス作家の本市への定着を促進するとともに、創作活動に対して支援します。

また、ガラス美術館基本構想に基づき、富山のガラス文化の拠点の整備について検討します。

デザインの普及とデザイン活動への支援

デザイナーの資質向上や人材の育成のため、若手デザイナーなどの活動に対して支援するとともに、ポスター塔やデザインサロン富山での特別企画展やデザインセミナー、富山デザインフェアなどを開催し、市民が商業デザインを身近に感じることができるよう工夫するなど、商業デザインの振興や普及啓発に努めます。

市民に期待する役割

* ガラス工芸や商業デザインについて理解を深める。

総合計画事業概要

事業名	平成18年度末現況	事業の概要 (19～23年度)
ガラスのまち推進事業	ショーケースの設置 ガラス作品収蔵数	ショーケース設置の拡充 ガラス作品の購入 ガラス美術館の建設検討
富山デザインフェア等開催事業	富山デザインフェアの開催	富山デザインフェア等（デザイン月間事業）の開催

政策2 個性豊かな文化・歴史を守り育てるまちづくり

(施策3) 市民の芸術文化活動への支援 《 - 2 - 3 》

現状と課題

心豊かな暮らしを実現するため、市民の創作活動への支援や、優れた芸術文化の鑑賞機会の提供が求められています。

また、本格的に芸術作家を目指している人から、趣味として芸術文化活動を実践している市民まで、それぞれの活動に応じた発表・鑑賞の場を提供し、芸術文化の発展につなげることが重要となっています。

さらに、次代の芸術文化を担う子どもたちに、芸術文化に触れる機会を提供することが重要となっています。

富山市芸術文化ホール年間稼働率 (%)

年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年
稼働率	64.9	66.6	63.9	69.8	66.4

(文化国際課調べ)

富山市民芸術創造センター利用状況 (件、人)

年度	舞台稽古場		リハーサル室		大練習室		練習室		アトリエ 舞台美術制作室		研修室		計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
13	388	20,753	468	24,921	3,272	77,471	20,148	52,014	494	1,600	273	1,194	25,043	177,953
14	419	29,098	489	30,312	3,837	92,145	21,122	51,771	513	3,545	316	1,840	26,696	208,711
15	380	32,230	521	34,155	4,681	107,932	23,603	64,070	485	3,188	423	1,204	30,093	242,779
16	332	43,171	444	29,193	4,560	116,815	23,604	62,703	544	8,833	352	1,810	29,836	262,525
17	388	39,366	455	27,979	4,638	117,117	23,363	67,164	263	2,564	292	1,589	29,399	255,779

(文化国際課調べ)

施策の方向

優れた芸術文化に親しむ機会の充実

市民が芸術文化に親しむ機会を拡充するため、芸術文化ホールなどでの芸術文化事業の情報提供に努めます。

地域の芸術文化活動拠点の充実

市民が身近で芸術文化に親しめる環境を整備するため、市民芸術創造センターや各地域の文化会館などを創作活動の拠点として充実させるとともに、老朽化した施設の改修を進めます。

また、市民の創作活動の発表の場として富山市美術展や神通峡美術展を開催するほか、音楽や舞踊などさまざまな文化活動の成果を発表する機会の提供に努めます。

地域文化を支える人材の育成

次代に地域の伝統文化を継承するため、児童生徒が地域の伝統的な文化行事などを通じて地域文化への理解を深めるとともに、児童生徒の文化活動を支援することにより地域文化を支える人材の育成に努めます。

また、地域文化のリーダーの育成を図るため、ふるさと発見塾や地域の文化に関するシンポジウムを開催するなど、市民が地域にある芸術文化資源を再発見し、住民一人ひとりが地域文化の担い手であると自覚できるよう意識の啓発に努めます。

市民に期待する役割

- * 芸術文化の鑑賞機会をもつ。
- * 創作活動に関する講座等に参加し、感性と創造力を養う。
- * 芸術文化活動の発表の場でそれぞれの成果を披露する。
- * 伝統的な文化・行事に参加する。

総合計画事業概要

事業名	平成18年度末現況	事業の概要 (19～23年度)
市美術展の開催	日本画、洋画、版画、彫刻、 工芸、書道、写真の7部門	事業の継続実施
神通峡美術展の開催	壁面や野外に展示する造形 作品の美術展	3年に1度の公募展として 継続実施
市民文化振興事業	市民文化事業団ソフト事業 芸術創造センター事業 桐朋アカデミー事業	事業の継続実施
文化芸術による創造のまち 支援事業	ふるさと発見塾やシンポジ ウム等の開催 ボランティアの育成など	事業の継続実施

個性と創造性に満ちた活力あふれるまち

政策3 人・もの・情報が行き交う多彩な交流の促進

(施策1) 広域交流の推進・充実 《 - 3 - 1 》

現状と課題

人口減少、少子高齢化社会においては、本市を来訪する人々がもたらす、「もの」、情報及び人々との交流が、地域の活力を維持し、地域の活性化を図る上で欠かせないものとなっています。

このことから、本市が人々から訪れたいまち、暮らしたいまちとして選ばれるまちづくりを行っていくことが必要となっています。

また、本市では、市内のスポーツ施設等を活用して、地域における広域的な交流や地域の活性化を図るため、補助制度を設けて、県外の高等学校・短期大学・大学のスポーツ合宿を誘致しています。

今後は、これらの交流活動が将来にわたって持続し、発展していくよう、交流の分野を広めとともに、活動を担う組織や人材の発掘と育成が必要となっています。

施策の方向

選ばれるまちづくりの推進

本市が人々から訪れたいまち、暮らしたいまちとして選ばれるよう、本市の有する自然、景観、伝統芸能、文化、産業などの豊富かつ多様な資源の保全、整備、育成により本市の新たな魅力の創出に努めます。

また、それらの魅力の情報発信、観光の振興及び交通のネットワーク化に努めるとともに、来訪者受け入れの担い手となる、NPOやボランティアなどの人材の育成を図ることにより、交流人口の増加に努めます。

さらに、団塊の世代や大都市圏等からのUIターン者の受け皿づくりを進め、週末居住などを含めた定住人口の増加に努めます。

都市間の連携・交流による魅力の創出

国内外に誇れる魅力に満ちた地域として持続的に発展するため、市民と県内外の人々が、民間・行政の枠を超え、経済や教育、文化など様々な分野において交流を深め、互いの地域の特性等を認識し、また互いの魅力を組み合わせることで相乗効果が発揮できるよう、連携・協働による活動体制の構築を図ります。

市民に期待する役割

* 自らの地域だけでなく、他都市の人たちとも交流する。

政策3 人・もの・情報が行き交う多彩な交流の促進

(施策2) 発展と交流を支える広域交通ネットワークの整備・充実 《 - 3 - 2 》

現状と課題

本市には、JR北陸本線やJR高山本線が整備されており、さらに、北陸新幹線の整備が進められるなど、鉄道交通の利便性の高い都市といえます。

空の玄関口である富山空港については、国内定期路線は3路線が運行されており、また、国際路線はソウル・ウラジオストク・大連の各便に加え、平成17年10月には上海便が開設され、国内外へのアクセス性が向上しています。

道路の状況では、高速道路として北陸自動車道が整備されており、また、地域高規格道路として富山高山連絡道路の整備も予定されていることから、自動車を利用した移動の利便性の向上が期待されています。

富山港については、地域の産業・経済の発展に貢献しており、内外貿易港として港湾機能の向上が求められています。

これらのことから、本市は、陸・海・空の交通の要衝地であるというポジションを生かし、環日本海地域の中核都市として、人・もの・情報の一層の交流を促進する必要があります。

JR 富山駅の輸送状況

年度	乗 車 客 (千人)			
	総 数	定期外	定 期	1日平均(人)
13	6,821	2,822	3,999	18,688
14	6,566	2,707	3,860	17,990
15	6,438	2,611	3,827	17,592
16	6,259	2,510	3,749	17,149

(JR西日本金沢支社調べ)

平成16年海外渡航者数 (人)

	全国順位	人口千人当り 出国日本人数
全国平均	-	133.4
石川	21	90.4
福井	22	88.5
富山	25	82.3

(出入国管理統計年報)

富山空港定期便の利用者数 (人)

年度	東京便		札幌便		福岡便	
	降客	乗客	降客	乗客	降客	乗客
12	434,409	442,070	61,050	56,402	27,690	29,593
13	429,536	438,358	60,318	56,599	27,259	29,575
14	555,472	530,150	58,730	58,185	29,507	29,454
15	545,562	544,538	57,170	53,812	27,790	30,699
16	558,503	555,378	54,731	52,216	26,166	28,213

年度	ソウル便		ウラジオストク便		大連便	
	降客	乗客	降客	乗客	降客	乗客
12	24,047	24,105	1,403	1,425	11,183	10,513
13	20,548	20,350	1,477	1,408	16,483	15,640
14	19,149	18,388	1,515	1,300	16,629	15,295
15	14,607	14,332	1,684	1,553	9,752	8,877
16	18,762	18,224	1,758	1,731	15,995	14,998

(富山空港管理事務所調べ)

富山・富山西インターチェンジ出入り交通量 (台)

年度	富山インターチェンジ			富山西インターチェンジ		
	総利用数	乗入	乗出	総利用数	乗入	乗出
13	6,363,372	3,035,763	3,327,609	-	-	-
14	6,273,183	2,995,540	3,277,643	-	-	-
15	5,922,373	2,852,087	3,070,286	1,151,150	557,556	593,594
16	6,086,229	2,927,413	3,158,816	1,486,224	727,658	758,566

(中日本高速道路(株)金沢支社富山管理事務所調べ)

富山港輸移出入貨物の状況 (t)

年	輸移出入 合計	内貿			外貿		
		移出入計	移出	移入	輸出入計	輸出	輸入
13	4,011,652	1,587,580	953,010	634,570	2,424,072	99,776	2,324,296
14	4,297,880	1,705,991	1,026,906	679,085	2,591,889	233,230	2,358,659
15	5,274,296	2,182,225	1,429,662	752,563	3,092,071	310,097	2,781,974
16	5,219,972	1,964,303	1,320,444	643,859	3,255,669	458,886	2,796,783
17	5,466,021	1,715,316	1,250,071	465,245	3,750,705	738,977	3,011,728

(河川港湾課調べ)

施策の方向

陸・海・空の広域交通ネットワークの活用

・北陸新幹線の整備促進

北陸新幹線は、北信越地域の飛躍的な発展を図る上で大きな効果をもたらし、本市と大都市圏との交流の活性化を担う柱であるため、全線開通に向けた事業の促進に努めます。

- ・ 広域的な道路交通網の充実

北陸自動車道の利便性を向上するため、流杉パーキングエリアにおいてETC専用インターチェンジ（スマートインターチェンジ）の実現に努めます。

また、富山県広域道路網マスタープランに位置づけられている富山高山連絡道路などの国道及び県道の整備について関係機関に働きかけます。

- ・ 空港・港湾の充実

国内外の交流を促進するため、富山空港施設や航空路線の充実を促進するとともに、富山外港や臨港道路の整備を関係機関に働きかけます。

政策3 人・もの・情報が行き交う多彩な交流の促進

(施策3) 世界とふれあう多様な交流の促進 《 - 3 - 3 》

現状と課題

国際化の進展に伴って、本市を訪れ、居住している外国人が増加しており、市民が他国の風習などに接する機会が多くなっています。

このことから、市民の異文化への理解を深めるため、外国人と交流できる機会の提供などにより、国際感覚豊かな人材を育成する必要があります。

また、本市を訪れる外国人にとって安心して過ごせるまちづくりを進めることにより、市民が主体的に行う交流活動が活性化し、本市の活力につなげることが期待されています。

外国人登録者数（各年12月末日現在）（人）

年次	総数		
	総数	男	女
平成13年	4,211	1,804	2,407
平成14年	4,311	1,849	2,462
平成15年	4,573	2,001	2,572
平成16年	4,880	2,065	2,815
平成17年	5,208	2,204	3,004

（市民課・情報統計課・各総合行政センター調べ）

外国人登録者の国別割合（12月末日現在）（％）

年次	中国	韓国 及び 朝鮮	フィリ ピン	ブラ ジル	米国	マレー シア	英国	カナダ	イタ リア	その他
17	39.0	17.3	12.0	11.9	1.5	1.2	0.5	0.4	0.1	15.9

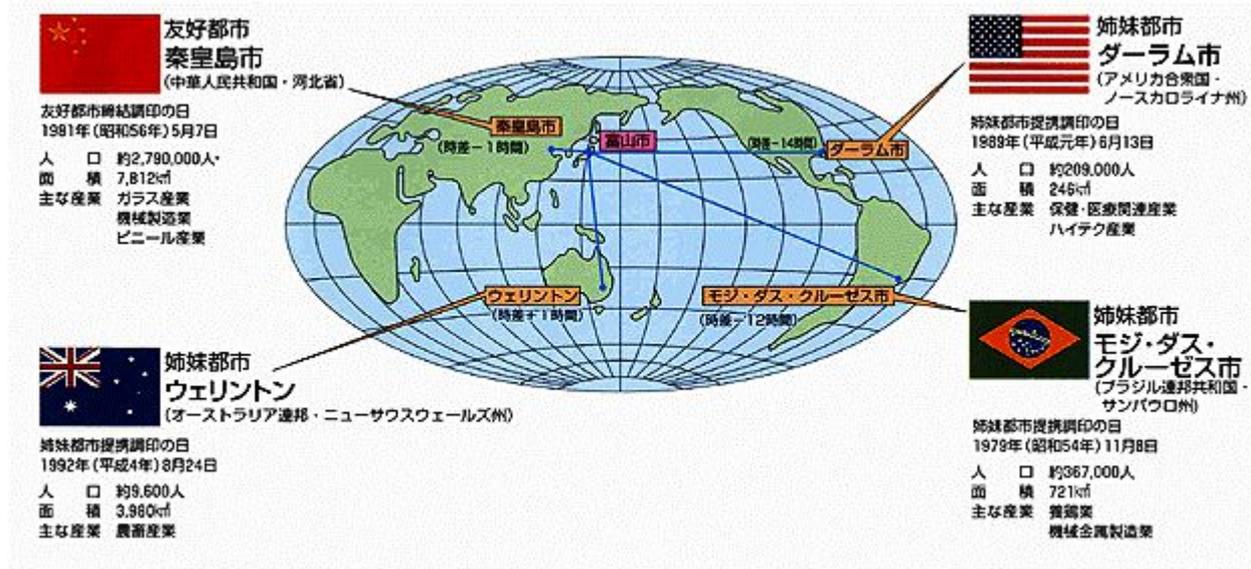
（市民課・情報統計課・各総合行政センター調べ）

富山市国際交流協会個人会員数（人）

	平成15年	平成16年	平成17年
会員数	583	600	580

（文化国際課調べ）

富山市の姉妹・友好都市



(文化国際課調べ)

施策の方向

様々な国際交流活動への支援

環日本海地域との交流が促進されるよう、国際交流団体や海外に進出している企業などとの連携を図ります。

姉妹・友好都市との交流については、市民の主体的な国際交流活動を支援し、様々な分野における国際交流と国際協力を推進します。

また、広い視野を持ち、国際感覚が豊かな人材を育成するため、富山市民国際交流協会等の関係団体と連携を図るとともに、市民や国際交流ボランティア団体の中核的な活動拠点として、国際交流センターの機能の充実を図ります。

外国人がすごしやすいまちづくり

外国人と住民が、互いを尊重し認め合いながら、地域の一員として共に暮らしていくため、多文化共生のまちづくりを推進します。

また、外国人にも住みやすいまちとするため、生活に関する様々な情報の提供に努めるとともに、災害時における通訳ボランティアを確保するなど、防災支援体制の整備を図ります。

市民に期待する役割

- * 自らの経験を生かした国際交流・国際協力に取り組む。
- * 地域の外国人と一緒に地域活動などを行い、ともに生活する。

総合計画事業概要

事業名	平成18年度末現況	事業の概要 (19～23年度)
姉妹・友好都市締結記念事業		モジ・ダス・クルーゼス市 姉妹都市提携30周年記念事業 ダーラム市姉妹都市提携20 周年記念事業 秦皇島市友好都市締結30周 年記念事業
中学生国際親善交流事業	姉妹・友好都市などとの中 学生の相互交流	事業の継続実施

個性と創造性に満ちた活力あふれるまち

政策4 新しい価値を創造する活力ある産業の振興

(施策1) とやまの活力を生み出す人づくり 《 - 4 - 1 》

現状と課題

さまざまな産業を支えているのは、熱意と向上心をもって各種サービスや生産活動などに取り組む人材です。今後は、長期的な人口減少傾向を見据えながら、意欲があり、時代とともに高度化・多様化する消費者ニーズに対応できる人材を育成・確保することが重要となっています。

農林業では、従事者の高齢化と後継者不足が進む一方、都市部の住民には、農業体験や農山村での生活に対して関心を持つ人が増えています。

漁業においては、経営の不安定さなどから、従事者が減少・高齢化しており、担い手の育成・確保が必要となっています。

一方、製造業やITなどの創業支援を図るため、ハイテク・ミニ企業団地やとやまインキュベータ・オフィスを設置し、入居企業の育成を図ってきています。さらに、平成18年度には研究開発型ベンチャー企業を育成するため、新産業支援センターを整備しています。

今後は、各産業を支える新たな人材の育成を図るとともに、新しい産業に取り組む起業家を支援する必要があります。

富山市商業の従業員数の推移

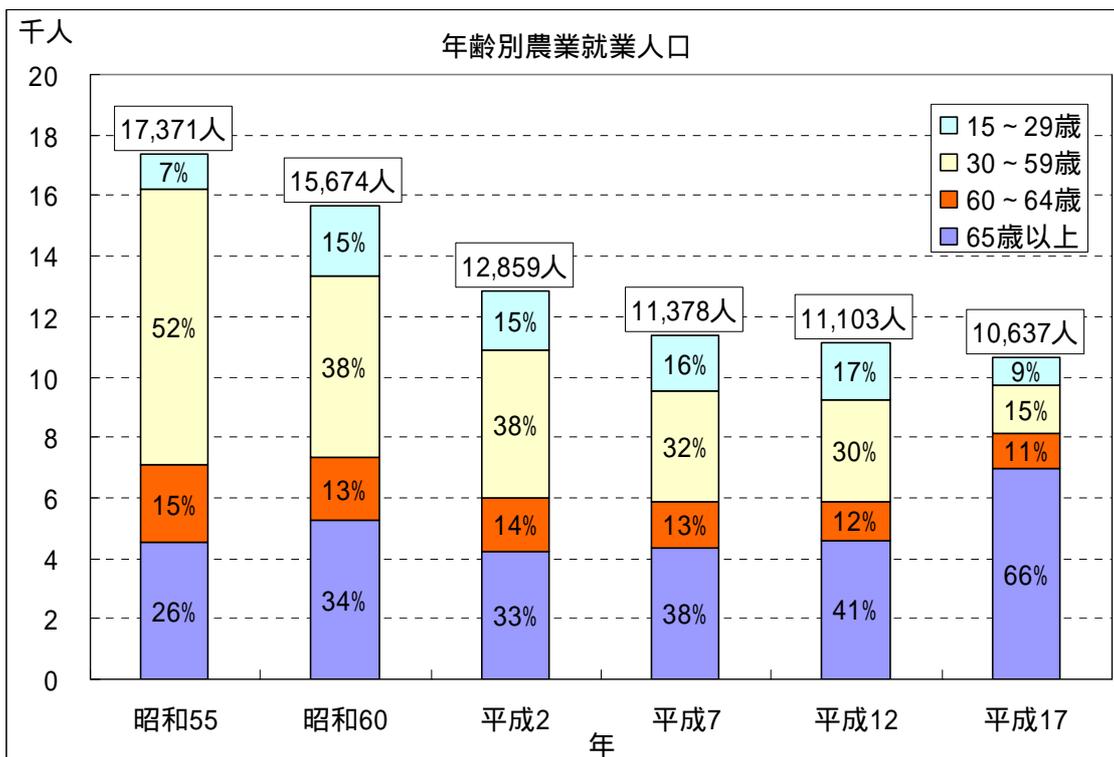
(人)

年次	総数	卸売業	小売業
11	49,064	18,391	30,673
14	46,469	15,940	30,529
16	44,576	15,697	28,879

(商業統計調査)

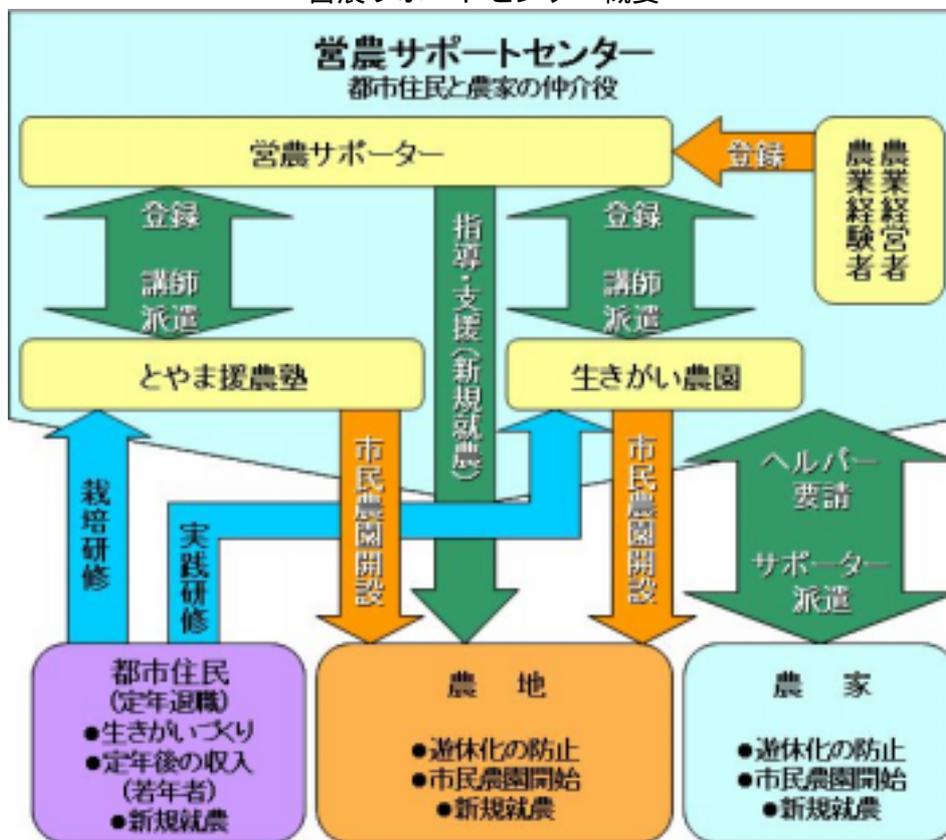
年齢別農業就業人口

(千人)



(農林業センサス)

営農サポートセンター概要



目標とする指標

指標名	指標の説明	基準数値 (年度等)	平成 23 年度 目標数値
営農サポーター登録数	営農サポートセンターに登録した営農サポーターの人数	40人 (18年度)	250人
認定農業者等が占める経営面積比率	市内の経営耕地面積のうち、認定農業者等の経営面積の割合	15% (17年度)	40%

施策の方向

各産業を支える人材育成

多様な企業等の連携により、産業を支える人材ネットワークの構築を促進するため、経営者の世代間や異業種間で交流する機会の創出に努めます。

また、農林漁業の活性化のため、高齢者・女性グループなど多様な担い手の確保に努めます。

農業については、大規模農家への農地の集積や集落営農の組織化・法人化による経営基盤の安定した経営体の育成に努めるとともに、都市部の住民を対象とした営農サポーター制度の実施により新たな担い手の発掘に努めます。

林業については、着実な森林施業を実施するため、森林組合や林業協業体との連携に努めるとともに、新たな担い手として、森林ボランティアの育成に努めます。

起業家への支援

ハイテク・ミニ企業団地やとやまインキュベータ・オフィスでは高度なものづくりや都市型産業の起業家を育成し、新産業支援センターでは成長分野の研究開発型ベンチャーの育成に努めます。

また、創業者支援資金融資制度や経営相談・指導などにより、資金面・経営面の両面から創業支援に努めます。

さらに、創業後も、(財)富山県新世紀産業機構や商工会議所などの関係機関と連携を図りながら事業経営の支援に努めます。

市民に期待する役割

* 営農サポーターや森林ボランティアの活動に参加し、担い手不足の農山村の産業を支援する。

総合計画事業概要

事業名	平成18年度末現況	事業の概要 (19～23年度)
とやま企業経営未来塾	公開セミナー、選抜者セミナーの開催	継続開催
担い手総合支援事業	農用地利用集積事業 農業法人育成事業	事業の継続実施
営農サポートセンター事業	とやま援農塾での栽培技術 研修など	事業の継続実施

政策4 新しい価値を創造する活力ある産業の振興

(施策2) とやまの魅力と活力を築くものづくり・しくみづくり

《 - 4 - 2 》

現状と課題

本市は、製造業の優れた技術と事業所の集積により工業都市として発展してきましたが、近年は、その製造品出荷額、事業所数とも減少傾向にあります。

今後は、設備の高度化や優れた人材の育成・確保などによる経営基盤の強化や、独創的な新技術・新商品の開発などによる経営革新が必要となっています。

また中小企業においては、中小企業同士がお互いの技術や知識を補完しあいながら、また大学や産業支援機関とも連携することにより、技術の高度化や製品の高付加価値化を図るなど、新たな価値の創出が求められています。

一方、本市の農林漁業は、兼業率が高く担い手も高齢化しているため、将来に持続できる生産体制の確保が困難となりつつあり、低コスト化と省力化をより一層推進することが必要となっています。

地域の顔となる商店街については、後継者不足や施設の老朽化、大型店との競合など厳しい環境にあり、魅力ある商業空間をどのように創出し、賑わいを取り戻していくかが課題となっています。

また、地域特有の課題を、地域住民が中心となり、地域の資源で解決する、コミュニティビジネスへの関心が高まっていることから、地域での新たな産業の創出機運を高め、起業への取り組みを支援する必要があります。

富山市工業の事業所数、従業者数の推移（事業所、人）

年度	事業所数	従業者数
7	1,180	42,815
12	1,121	40,433
16	976	37,911

(工業統計調査)

平成 16 年産業中分類別製品出荷額等 (万円、%)

産業中分類	製造品出荷額	割合
化学工業	26,630,665	23.8
一般機械器具	22,045,111	19.7
電子部品・デバイス	11,597,277	10.4
石油製品・石炭製品	9,220,704	8.2
輸送用機械器具	7,586,182	6.8
食料品	5,272,688	4.7
金属製品	4,950,998	4.4
窯業・土石製品	3,414,263	3.1
印刷・同関連業	2,799,893	2.5
鉄鋼業	2,623,961	2.3
プラスチック製品	2,549,365	2.3
その他	13,176,185	11.8
計	111,867,292	100.0

(工業統計調査)

富山市商業の事業所数

(事業所)

	総数			卸売業			小売業		
	H11	H14	H16	H11	H14	H16	H11	H14	H16
富山市	7,634	7,025	6,716	1,934	1,719	1,757	5,700	5,306	4,959
富山地域	6,619	6,049	5,797	1,851	1,641	1,675	4,768	4,408	4,122
大沢野地域	219	192	178	16	13	16	203	179	162
大山地域	102	90	85	8	5	7	94	85	78
八尾地域	318	291	288	23	24	26	295	267	262
婦中地域	324	361	326	34	34	30	290	327	296
山田地域	16	14	10	1	1	1	15	13	9
細入地域	36	28	32	1	1	2	35	27	30

(商業統計調査)

平成 16 年林産物素材生産量 (千 m³)

都道府県	全国順位	林産物素材 生産量
全国計	-	15,615
石川県	33	102
福井県	35	97
富山県	42	41

(農林水産省統計表)

漁港別漁獲高

(t、百万円)

年 度	水 橋		岩 瀬		四 方		合 計	
	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額
13	155	133	943	506	891	365	1,989	1,004
14	263	130	874	444	954	421	2,091	995
15	296	111	1,015	503	1,303	667	2,614	1,281
16	283	109	1,072	440	1,197	440	2,552	989
17	402	191	1,059	541	1,312	486	2,773	1,218

(農業水産課調べ)

目標とする指標

指標名	指標の説明	基準数値 (年度等)	平成 23 年度 目標数値
製造業における従業員一人当たりの付加価値額	工業統計における従業員 1 人当たりの付加価値額	12,323 千円 (16 年度)	12,940 千円
転作面積にかかる出荷大豆・麦、出荷野菜等の栽培面積率	富山市の転作面積(水稻を作付けしない地目が田の面積)のうち、出荷大豆・麦・野菜の栽培面積の割合	24.4% (17 年度)	30.0%

施策の方向

工業振興ビジョンの策定

地域経済の活性化と雇用機会の確保を図るため、市内の企業の立地状況や業種の特徴を調査・分析し、工業を中心とした産業施策についてのビジョンを策定します。

中小企業の経営基盤安定・強化への支援

中小企業の経営基盤を強化するため、産業支援機関と連携し、技術開発や経営革新、人材育成に向けた取り組みに対して支援します。また、中小企業向け融資制度や経営指導の充実に努めます。

地域に根ざした農林漁業への支援

・地場産品の高付加価値化

地場産品を PR する拠点を設置し、それぞれのネットワーク化を図るとともに、農産加工品の生産販売を支援します。

- ・農山漁村の活性化

農山漁村の活性化を図るため、都市部の住民との交流を行うグリーンツーリズムなどの取り組みを推進します。

さらに、大都市圏の人々が、本市の豊かな自然やおもてなしの心に触れることにより、交流人口の増加から、定住人口の増加につながるよう努めます。

- ・農業基盤の整備

農業生産基盤を整備するため、生産体制の組織化や、農業用機械・施設の共同利用、直播栽培の推進など低コスト化、省力化に対する取り組みに加え、水田農業の生産工程を分業・専門化する分業共益農業を推進します。

農業経営の安定化のため、米の計画的生産により水稻を作付けしない水田に大豆・麦・野菜の栽培を推進するとともに、果樹や花きの生産量の拡大に努めます。また、新たな栽培技術や新品種の開発により、特色ある農産物の産地化を推進します。

中山間地域では、狭小な集落における営農体制づくりを支援するため、集落一農場方式を推進するとともに、立地特性を生かした作物を調査・試験し、特産品化することにより、地域の活性化を推進し、耕作放棄地の拡大を防ぎます。

また、土地改良施設の適正な維持管理に努めるとともに、安定した農業用水の利用と農業集落の環境保全への活用を図るため、用排水施設の整備を行います。

- ・畜産基盤の整備

効率的な畜産経営を推進するため、畜舎や家畜排泄物処理施設の整備を支援するとともに、排泄物を堆肥としてリサイクルし、環境にやさしい有機農業を推進します。

- ・林業基盤の整備

本市の広大な森林を着実に整備するため、林道や作業道、機械施設を整備し、的確な森林施業を効率的に推進します。

また、間伐材を含めた地域材の需要拡大を図るため、個人住宅を地域材で建築することに対し補助するなど、地域材の活用促進に努めます。

- ・漁業基盤の整備

安全で円滑な操業環境を整備するため、護岸改良や荷捌所を整備するとともに、漁業者や地域住民の憩いの場として親しまれる漁港環境の改善に努めます。

また、漁業資源が将来にわたって枯渇しないよう、資源管理型漁業を推進し、源流から海まで一体となった漁業資源の確保に努めます。

地域商店街の活性化

地域の商店街の活性化と賑わいづくりを推進するため、地域の特性を活かした個性ある取り組みに対して支援します。

また、積極的に活動を展開する商店街には、実験的に行う活性化事業などに対して支援し、地域商店街の維持・再生を図ります。

コミュニティビジネス創業機運の醸成

コミュニティビジネスの創業機運を醸成するため、若手起業家や後継者を対象に、コミュニティビジネス経営者などを講師としたセミナーを開催し、地域での普及・啓発に努めるとともに、NPOなどとも連携しながら事業化への取り組みを支援します。

市民に期待する役割

- * 生産者は安全な地場産品の供給に努める。
- * 地場産品についての理解を深め、購入に努める。
- * 生活用品は、なるべく地元の商店で購入するよう努める。

総合計画事業概要

事業名	平成18年度末現況	事業の概要 (19～23年度)
工業振興ビジョンの策定		ビジョンの策定
富山とれたてネットワーク事業	各地域でのサテライトショップの設置 7箇所	ネットワーク事業展開 地産地消推進拠点の設置
都市農山漁村交流推進事業	グリーンツーリズム重点推進地区 4箇所	グリーンツーリズム重点推進地区 14箇所
集落営農促進対策事業	営農組織数 109組織	営農組織数 134組織
大豆・麦等の生産拡大事業	出荷大豆・麦・野菜等面積 908ha	出荷大豆・麦・野菜等面積 1,116ha
中山間地域特産品開発事業	展示圃の設置 栽培調査品目数 5品目	栽培調査品目数 15品目
農業環境対策事業 (再掲 -2-1)	整備延長 69.3 km	整備延長 74.3km (延長5.0kmの整備)
畜産基盤再編総合整備事業		畜舎、堆肥舎の整備など
森林整備事業 (再掲 -4-1)	森林整備面積 165ha/年間	森林整備面積 200ha/年間
地域材活用促進事業	地域材使用住宅への補助	事業の継続実施
漁港施設整備事業	駐車場用地舗装工事 臨港道路新設工事 など	護岸改良、臨港道路工事、 荷捌所整備、緑地広場整備

政策4 新しい価値を創造する活力ある産業の振興

(施策3) とやまの未来を拓く新産業・新事業の創造《 - 4 - 3 》

現状と課題

本市の産業環境は、医薬品や機械部品、電気機械などの製造業を中心とした産業集積を背景に技術や人材が豊富であり、さらに、大学や産業支援機関が集積しており研究成果のビジネス化が期待されるなど、新産業の育成に適した基盤を有しています。

本市では、ハイテク・ミニ企業団地や、とやまインキュベータ・オフィスなどで創業支援に努めてきましたが、事業所開業率は全国平均を下回っており、産業全体として新事業創出の動きは鈍い状況にあります。

このことから、新産業支援センターを整備し、産学官連携により大学等の優れた研究成果の事業化を支援するなど、創業者やベンチャー企業などの育成に取り組んでいます。

また、本市では企業団地の造成により、多くの企業が立地していますが、今後さらに、新たな研究開発に取り組む個性的な企業の誘致を推進するなど、新しい価値を生み出す新事業の創出に向けた取り組みが重要となっています。

富山市の開業率の推移

(事業所、%)

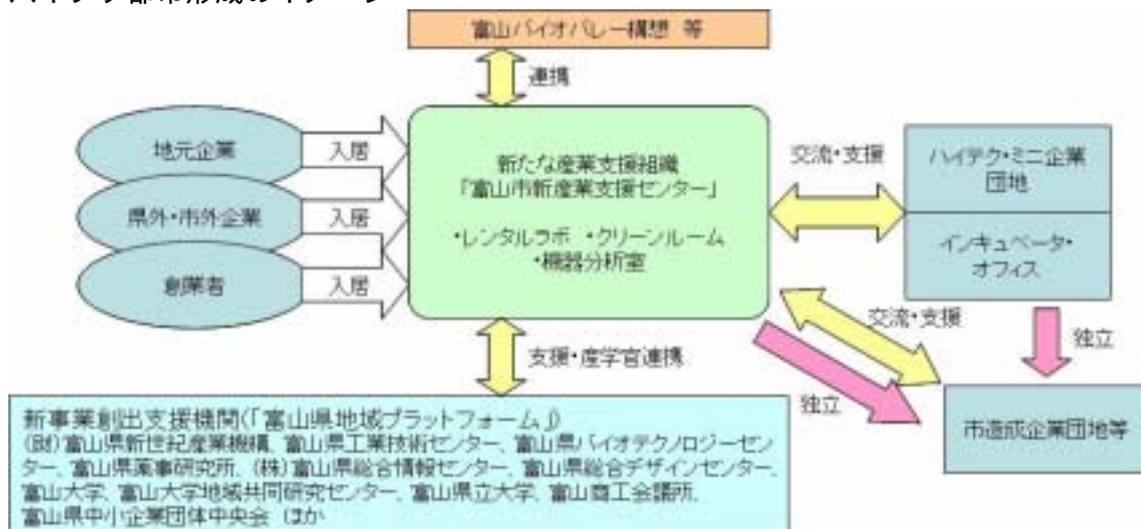
	H8～H11	H11～H13	H13～H16
調査時事業所数	23,615	23,398	22,111
新設事業所数	2,889	3,120	2,540
年平均開業事業所数	1,051	1,387	953
事業所開業率	4.3	5.9	4.1
事業所開業率(富山県)	3.3	4.9	3.3
事業所開業率(全国)	4.1	6.7	4.2

(工業政策課調べ)

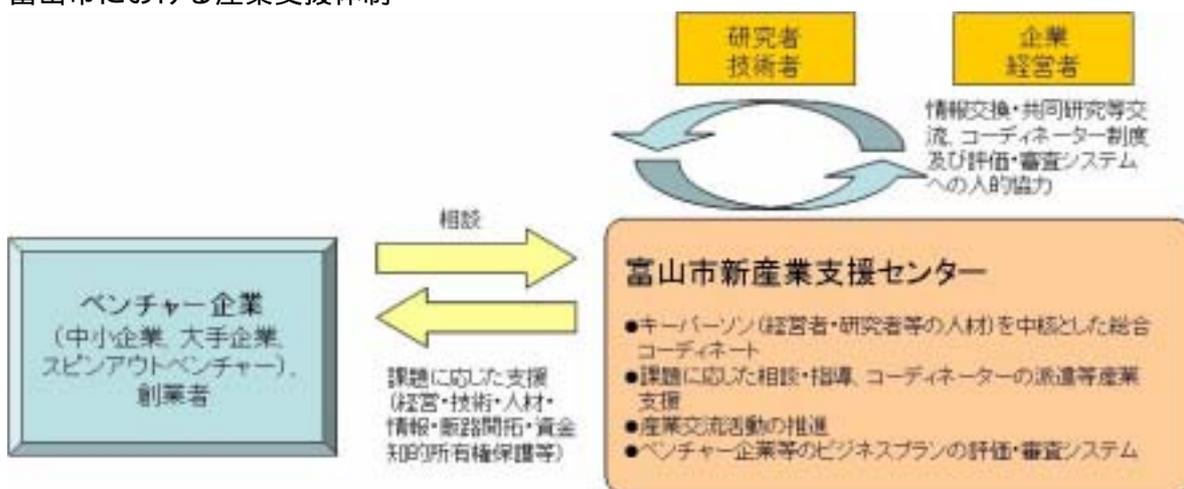
目標とする指標

指標名	指標の説明	基準数値 (年度等)	平成23年度 目標数値
事業所の新規開業率	事業所統計における新規開業率(全産業)	4.1% (16年度)	5.0%

ハイテク都市形成のイメージ



富山市における産業支援体制



工業団地・卸商業団地等一覧

	団 地 名	組合並びに協 議会設立年	所 在 地	面積 (㎡)	立地 企業数
1	富山機械工業センター(協)	昭和35年	新庄本町及び向新庄町地内	119,572	19
2	(協)富山問屋センター	昭和37年	問屋町地内	207,609	48
3	(協)富山木工団地	昭和37年	下赤江町地内	27,437	14
4	富山市第二機械工業センター(協)	昭和42年	古寺及び流杉地内	65,535	12
5	富山市第三機械工業センター(協)	昭和44年	水橋伊勢屋地内	108,330	6
6	富山企業団地(協)	昭和48年	水橋三郷地内	295,278	33
7	(協)富山トラック輸 送センター	昭和52年	上野地内	24,844	22
8	富山流通団地(協)	昭和55年	八日町地内	43,844	21
9	(協)とやまオムニ パーク	昭和60年	南央町地内	130,555	21
10	富山市ハイテク・ミ ニ企業団地	平成2年	今市地内	18,210	29
11	四方テクニカルパー ク	平成3年	四方荒屋地内	46,820	21
12	草島工業団地	平成6年	草島古川地内	78,825	13
13	水橋リバーサイドパ ーク	平成6年	水橋肘崎及び水橋市田袋地内	138,961	10
14	上条工業団地	平成7年	水橋石割及び水橋田伏、水橋北馬場 地内	135,447	6
15	金屋企業団地	平成11年	金屋地内	254,464	26
16	大沢野機械工業セン ター(協)	昭和35年	高内地内	95,300	6
17	中大久保企業団地	平成7年	中大久保地内	189,474	23
18	八尾機械工業センタ ー(協)	昭和35年	八尾町福島地内	33,275	7
19	富山八尾中核工業団 地	昭和60年	八尾町保内地内	1,939,314	28
20	婦中機械工業センタ ー(協)	昭和45年	婦中町神保地内	140,219	5
21	婦中铁工団地(協)	昭和45年	婦中町熊野地内	90,812	12
22	宮野工業団地(協)	昭和50年	婦中町宮野地内	176,000	8
23	婦中企業団地(協)	平成元年	婦中町中名及び道場地内	315,298	28
24	婦中町臨空工業団地	-	婦中町板倉及び増田、添島地内	375,000	10
25	富山イノベーション パーク	平成10年	婦中町島本郷地内	191,901	12

(工業政策課調べ)

施策の方向

新たな産業の育成

レンタルラボなどを備えた新産業支援センターにおいて、大学や産業支援機関などの関係機関と連携しながら、医薬バイオ・ナノテク・ITなど成長分野の研究開発型ベンチャーの育成に努めます。

また、このセンターを拠点として、ハイテク・ミニ企業団地やとやまインキュベータ・オフィスと連携を図りながら、高度なものづくりや都市型産業の育成に努めます

さらに、ベンチャー企業等の研究開発や事業化の各段階における経営課題の解決を支援するため、(財)富山県新世紀産業機構などと連携し、融資制度・公的支援の相談情報提供を行うとともに、技術や製品の販路開拓を支援します。

企業立地の促進

雇用機会の拡大による地域経済の活性化を図るため、それぞれの企業団地の立地特性に応じた産業・業種の集積を図るとともに、先端技術企業や研究開発型企業の誘致に努めます。

総合計画事業概要

事業名	平成18年度末現況	事業の概要 (19～23年度)
新産業支援事業	新産業支援センターの整備	支援事業の実施